

- 平成30年7月豪雨による災害発生直後から、地域の守り手である地元建設業者が、過酷な作業環境の中、被害拡大防止及び早期復旧のため、土砂撤去や護岸復旧など昼夜を問わず現場作業に取り組んだ。



▲国道202号の土砂・倒木撤去作業（唐津市）



▲国道201号の法面崩壊箇所の復旧作業（飯塚市）



▲松浦川水系徳須恵川の護岸応急復旧作業（唐津市）



▲国道224号の防護柵設置作業（鹿児島市）